

ICT でわかる + 学習スタイルでわかる 分析ツール使用説明

【ダウンロードするファイルセットの内容】

学びのほうほうアンケートファイル（エクセルファイル）

授業後アンケートファイル（エクセルファイル）

data01 児童個々の学習スタイルを特定するマクロファイル（マクロ付エクセルファイル）

data02 deta01 から個々の学習スタイル、成績を取り込み、授業後アンケートの結果を入力することで、ICT を活用した授業の工夫が、クラス全体や子どもの学習スタイル毎に、どのような効果があるか調べるマクロファイル マクロ付エクセルファイル

（エクセル 2000、2003 用 と エクセル 2007、2010 用 の 2 種類があります）

data01 と data02 は常に同じフォルダの入れておいてください。

この 4 つのファイルを活用して、クラスで「学習スタイルと ICT 活用」について考えてみましょう。

A～E の順番で作業してください。

A 学びのほうほうアンケートの実施

学びのほうほうアンケート		6年 2組 名前 ○○△□	
質問をよく読んで、一ばんちかい、よくあてはまるところに○をつけなさい。			
例(れい)	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
	○		
質問 1	勉強をするとき、細かくていねいに考えるほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
	○		
質問 2	どんなことにたいしても よく見てから行動するほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
		○	
質問 3	テスト勉強をするときなど、自分なりのノートの整理を心がけているほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
	○		
質問 4	考えるより、まずすぐのためにためしてみたいくなるほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
			○
質問 5	道具を使ったり、自分でやってみる勉強がすきだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
		○	
質問 6	話し合いをするとき、自分から意見を言うほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
			○
質問 7	勉強をするとき、困ってしまうことが多い。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
	○		
質問 8	むずかしい問題をとくとき、どこからやればいいかわからない。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
		○	
質問 9	自分が言ったことや、やったことをあとでよくよく考えるほうだ。		
	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
			○
質問 10	もし「そのとおり」が 2 つ以上あったら、思いの強いほうから順位をつけてください。 例、「1位」(質問 3) など		
次ページ	1位	2位	3位
	7	1	3

学びのほうほうアンケートのファイルからアンケートをクラスの数分印刷をして、アンケートを実施する。

B ICTを活用した授業の実施
(ICTを活用しなかった授業でも分析は可能)

C 授業後に「授業後アンケート」を実施

授業後アンケートファイルからアンケートを印刷し、アンケートを実施する。

質問項目は20問あるが、質問1～18で最大で10問を選択する。質問19, 20は必須
 授業後アンケートファイルで不要質問を削除して印刷してもよい。

選択番号	あてはまる番号に○をつけてください。	とても そう思う	少し そう思う	どちら でも ない	あまり そう ない	まったく ない
1	前の時間にやったことが思い出せてよかった	5	4	3	2	1
2	何をしたらよいか、何を考えたらよいかわかった	5	4	3	2	1
3	教科書や資料が大きく写ってわかりやすかった	5	4	3	2	1
4	友達のノートが大きく写ってわかりやすかった	5	4	3	2	1
5	実験のものが大きく写ってわかりやすかった	5	4	3	2	1
6	テレビ番組を止めながら見ただけでわかりやすかった	5	4	3	2	1
7	ビデオを見て勉強してわかりやすかった	5	4	3	2	1
8	グループで考えることができてよかった	5	4	3	2	1
9	ひとりで考えることができてよかった	5	4	3	2	1
10	友達の意見を聞いて、わかりやすかった	5	4	3	2	1
11	自分の考えや意見を発表できてよかった	5	4	3	2	1
12	自分がやりたい時間を選べてよかった	5	4	3	2	1
13	自分で調べたいことに取り組みやすかった	5	4	3	2	1
14	自分でパソコンやデジタルカメラなどを使えてよかった	5	4	3	2	1
15	プリントに書き込んでわかりやすかった	5	4	3	2	1
16	先生がそばに来て教えてくれたのでわかりやすかった	5	4	3	2	1
17	先生の話(授業の説明)が良かった	5	4	3	2	1
18	先生がわかりやすく黒板にまとめてくれた	5	4	3	2	1
19	勉強に集中して取り組むことができた	5	4	3	2	1
20	この時間の勉強が良かった	5	4	3	2	1

D テストの実施 単元が終わった段階でテストを実施する。

**E エクセルマクロを使って学習スタイルの特定と
 ICT活用の効果を分析する**

エクセルを活用するにあたっての事前準備

- (1) マクロを使用するため マクロのセキュリティを最低ランクにする
- (2) アドインから分析ツールとVBA分析ツールを使用するためのチェックをいれる。

具体的な作業は次のページから説明

事前の「学習スタイル調査」ソフトと 事後の「分析アンケート」ソフトの利用に関する注意事項

両ソフトを利用するための基本設定（この設定をしないと利用できません）

- ・この設定を行うと、セキュリティのレベルが低下しますので、不安のある場合は、利用後、セキュリティのレベルをもとに戻しておいてください。

（ウイルス対策ソフトを適正に導入され、適正にパソコン及びインターネットを利用されている場合は、セキュリティを下げたままでも、まったく問題はありません。）

（１）マクロを使用するため マクロのセキュリティを最低ランクにする Excel2007、2010 の場合

手順 1 Excel2010 はメニューバー（上部）にある

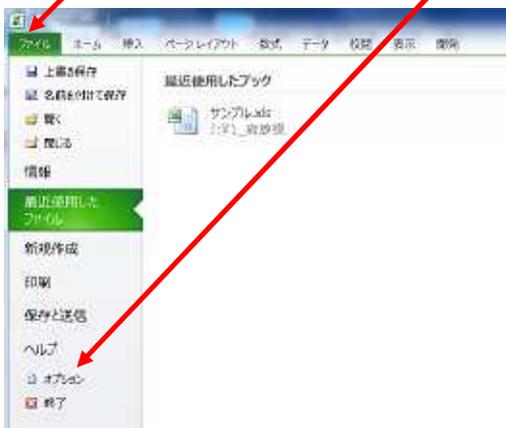
「ファイル」をクリックして、ファイル画面を出す。

Excel2007 はオフィスボタン

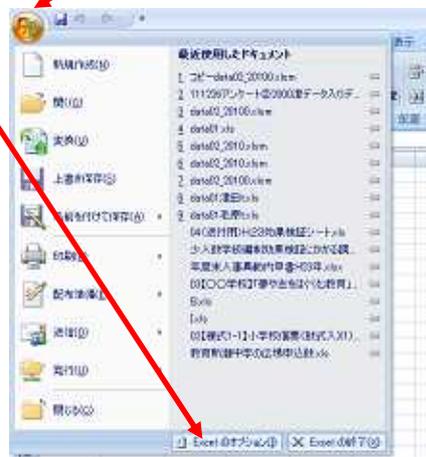
をクリックしてファイル画面を出す。

手順 2 「オプション」を選択する。

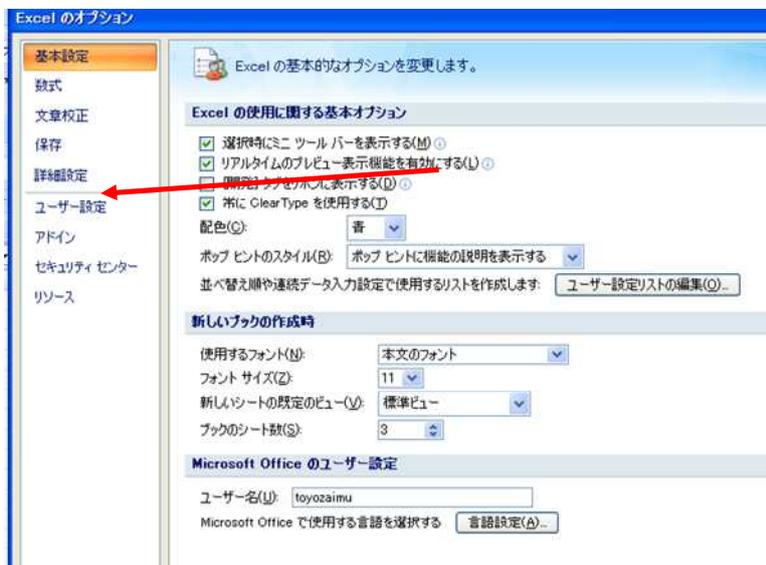
Excel2010



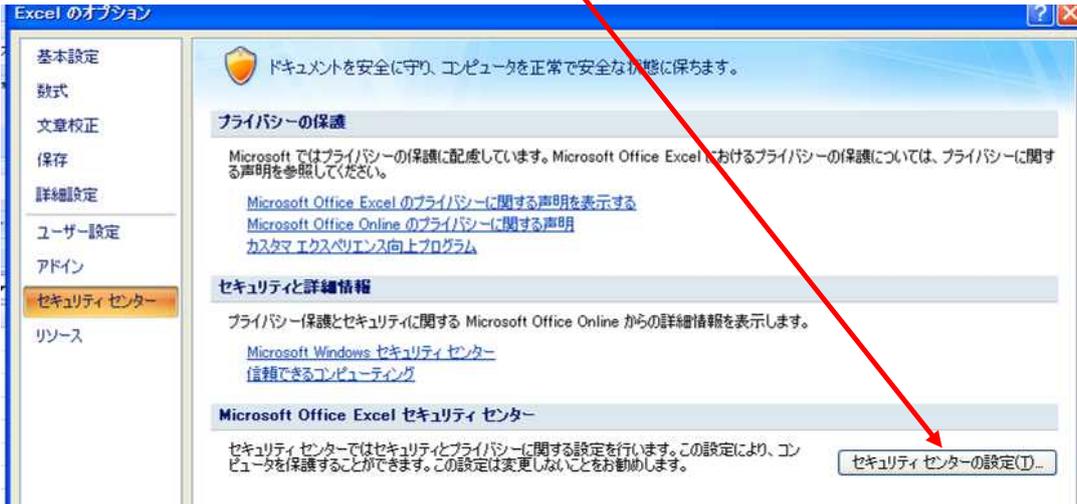
Excel2007



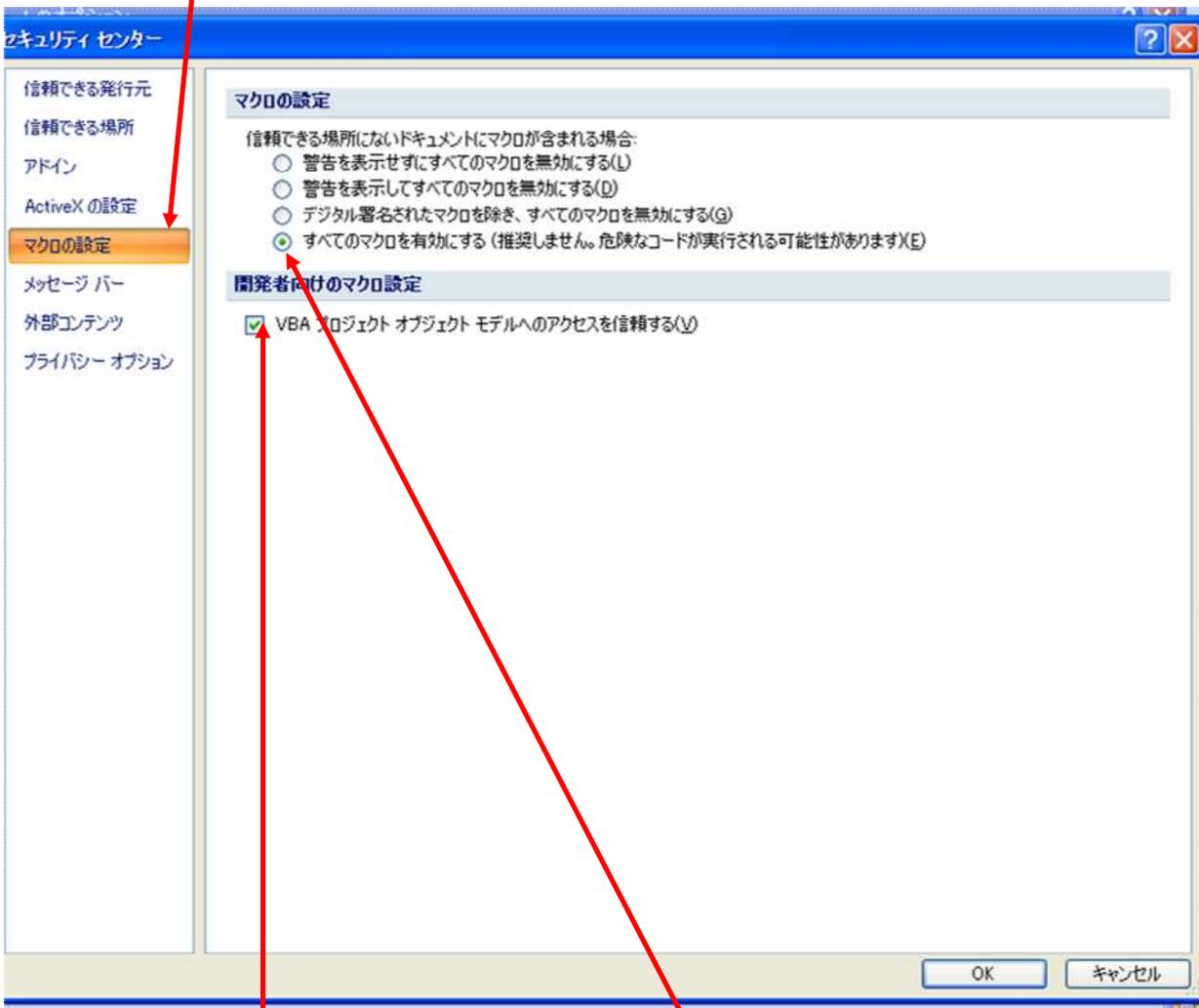
手順 3 「セキュリティセンター」を選択する



手順 4 セキュリティセンターの設定を選択



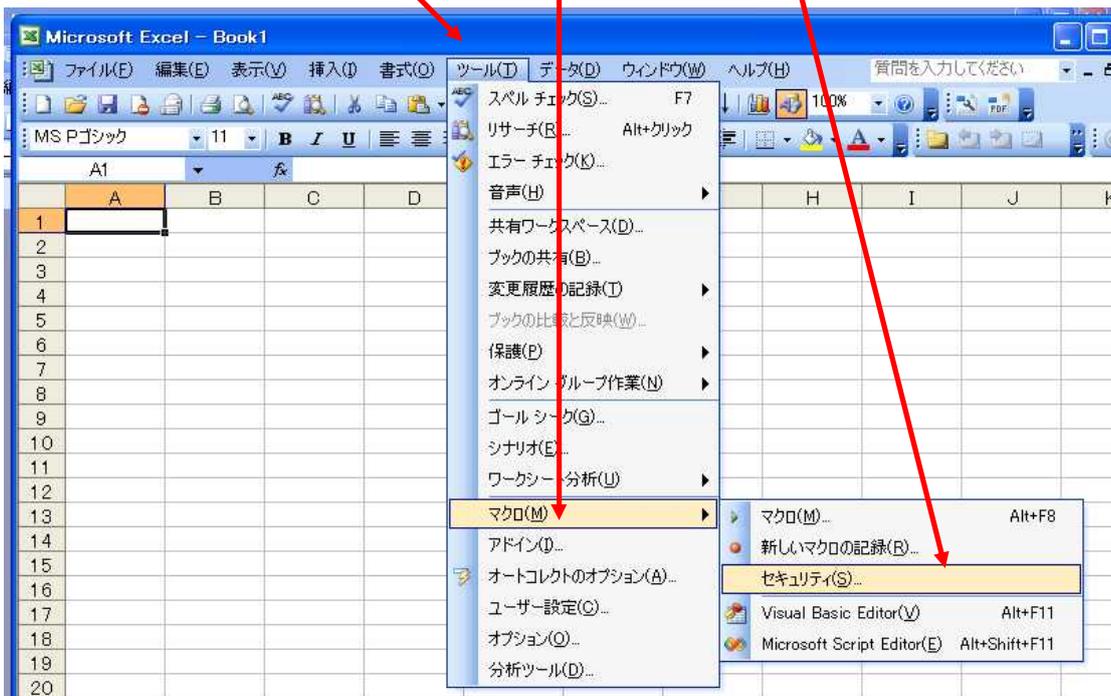
手順 5 マクロの設定を選択



手順 6 「アクセスを信頼する」にチェック、「すべてのマクロを有効にする」にチェック
そして、OK ボタンをクリック

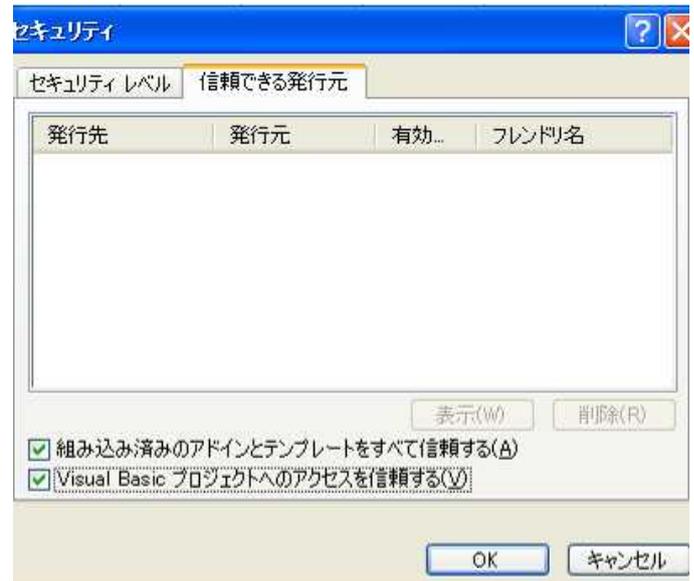
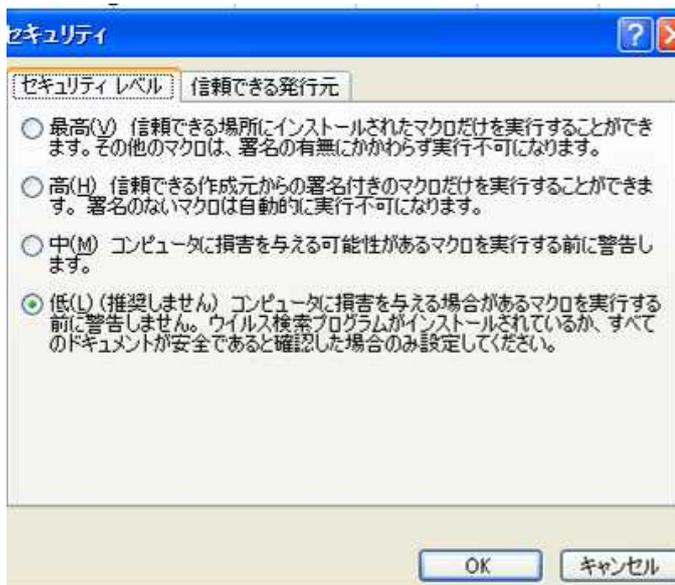
Excel2000、2003 の場合

手順1 メニューバーの「ツール」「マクロ」「セキュリティ」をクリックする



手順2 セキュリティレベルを低(L)にする

信頼できる発行元を 2つとも信頼する にする。



OK をクリックする

(2) アドインから分析ツールと VBA 分析ツールを使用するためのチェックをいれる。
Excel2007、2010 の場合

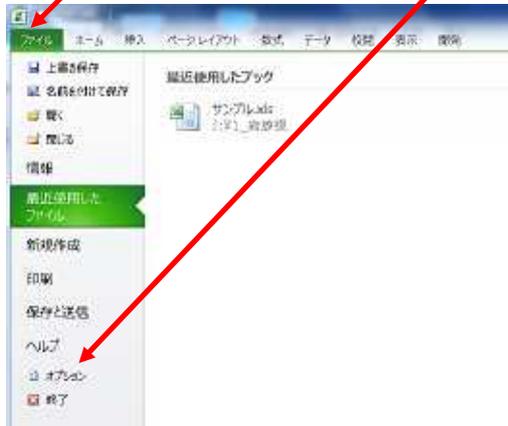
手順 1 Excel2010 はメニューバー (上部) にある

「ファイル」をクリックして、ファイル画面を出す。
Excel2007 はオフィスボタン

をクリックしてファイル画面を出す。

手順 2 「オプション」を選択する。

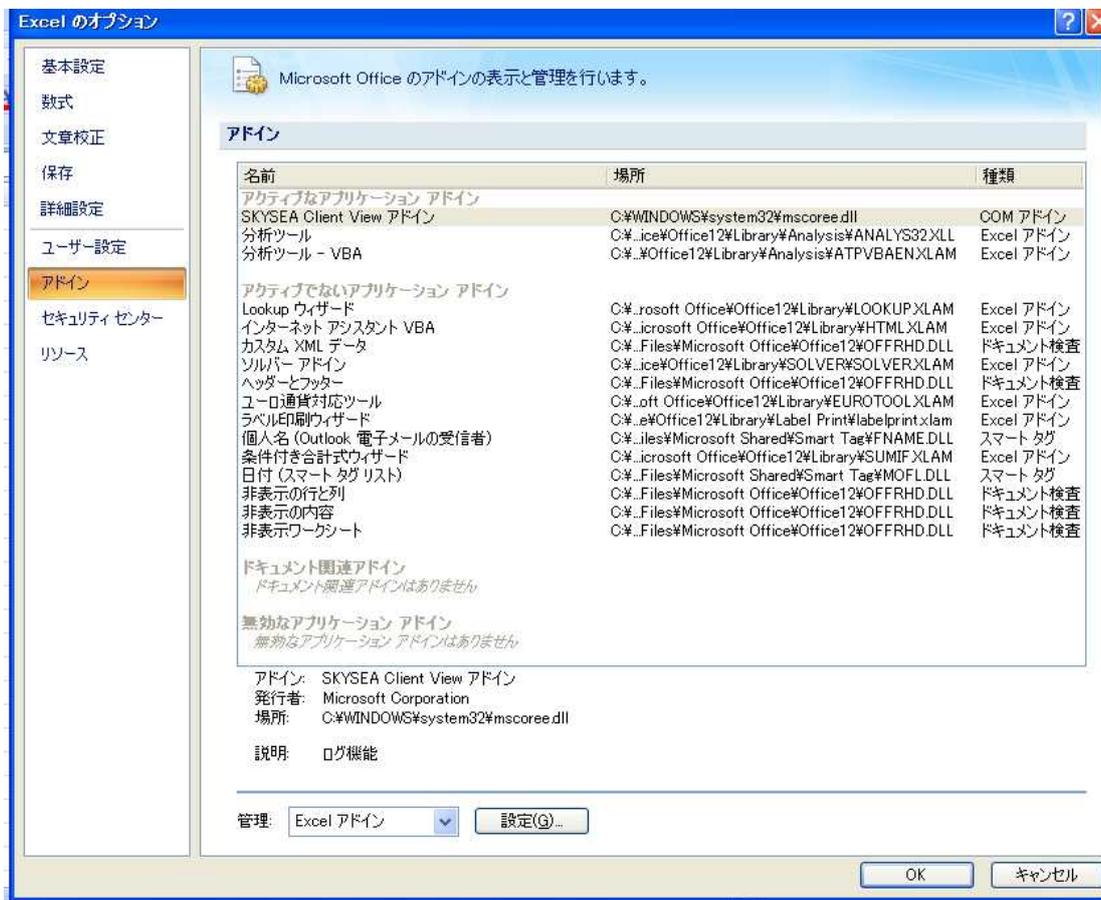
Excel2010



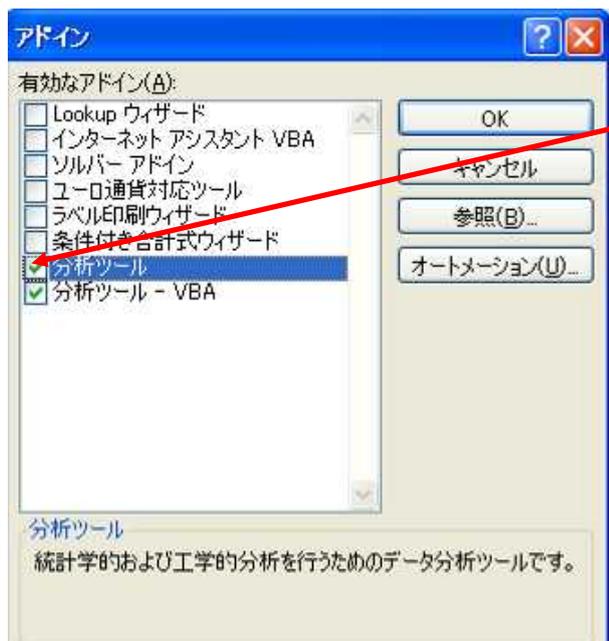
Excel2007



手順 3 アドインを選択し、管理の Excel アドインから設定を選ぶ



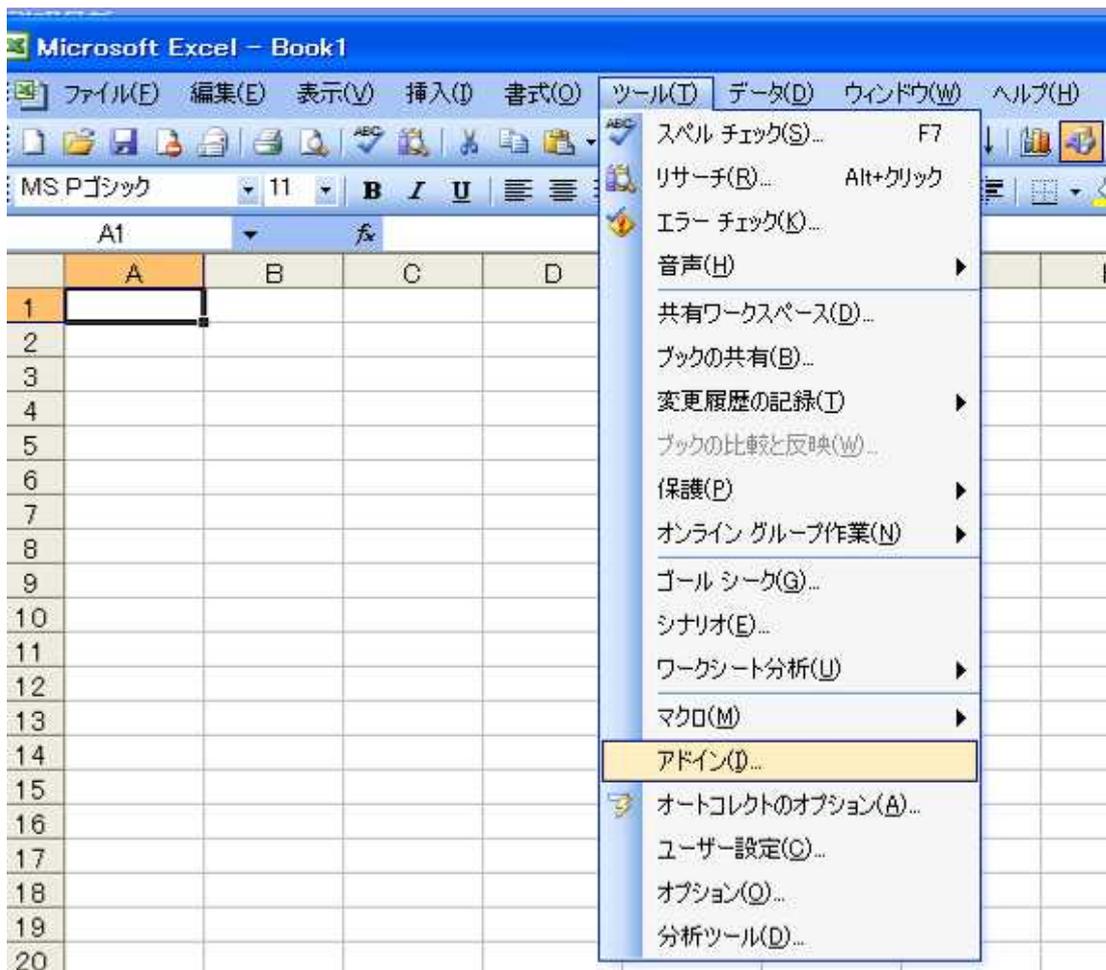
手順4 アドインの画面が出てくるので



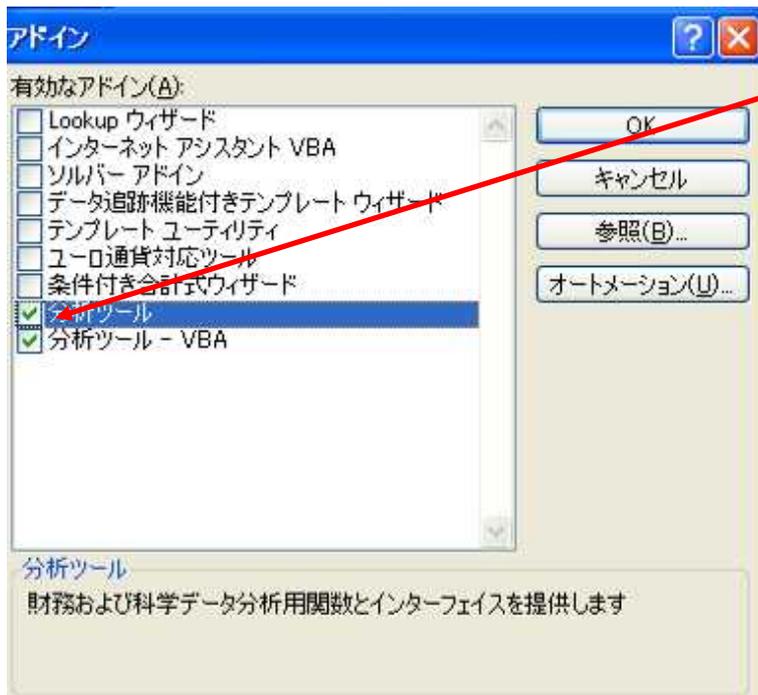
分析ツールと分析ツール-VBA にチェックを入れ
OK をクリックする。

Excel2000、2003 の場合

手順1 メニューバーの「ツール」 「アドイン」をクリックする



アドインの画面が出てくるので



分析ツールと分析ツール-VBA にチェックを入れ OK をクリックする。

これでマクロを使う条件が整いました。

学習スタイルを分析したり、ICT 活用と授業の工夫の関連を調べるため
マクロ data01 と data02 を使ってみましょう。

【用意するもの】

- クラスの子どもに実施した学びのほうほうアンケート（学習スタイル調査用紙）結果
- 授業を行った後の単元テストなどの結果（100 点満点で差が出るようなものが望ましい）
- 授業後のアンケート結果
- エクセルファイル data01 と data02 （data02_2000 もしくは data02_2010）

学習スタイルを特定する

【用意するもの】

- クラスの子どもに実施した学びのほうほうアンケート（学習スタイル調査用紙）結果
- 授業を行った後の単元テストなどの結果（100 点満点で差が出るようなものが望ましい）
- エクセルファイル data01

(1) 個々の子どもの学習スタイルの特定

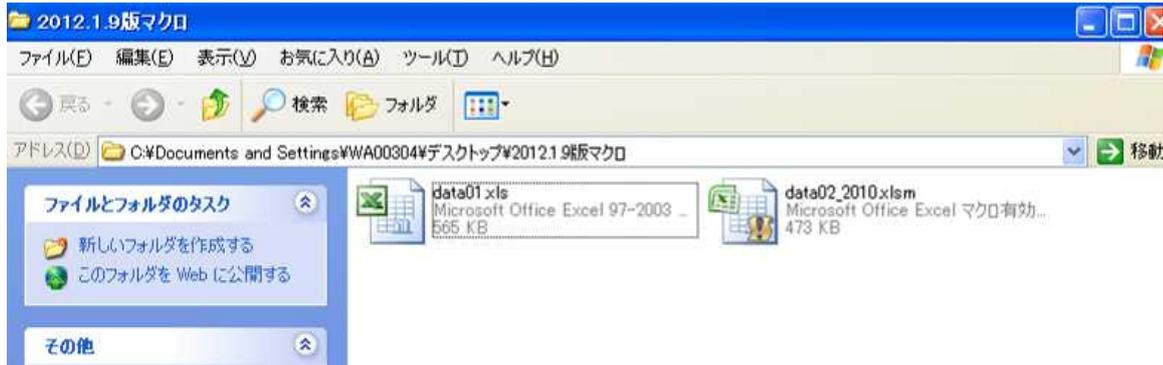
「学びのほうほうアンケート」をもとにひとりひとり入力していきます。

学びのほうほうアンケート		8年 2組 名前 ○○△□	
質問をよよく読んで、一ばんちかい、よくあてはまるところに○をつけなさい。			
例(れい)	そのとおり	どちらともいえない	ちがう
	○		
質問 1	勉強をするとき、細かくていねいに考えるほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
	○		ちがう
質問 2	どんなことにたいしても よく見てから行動するほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
	○		ちがう
質問 3	テスト勉強をするときなど、自分なりのノートの整理を心がけているほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
	○		ちがう
質問 4	考えるより、まずすぐのためにためしてみたくなるほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
			○
質問 5	道具を使ったり、自分でやってみる勉強がすきだ。	そのとおり	どちらともいえない
		○	ちがう
質問 6	話し合いをするとき、自分から意見を言うほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
			○
質問 7	勉強をするとき、困ってしまうことが多い。	そのとおり	どちらともいえない
	○		ちがう
質問 8	むずかしい問題をとくとき、どこからやればいいのかわからない。	そのとおり	どちらともいえない
		○	ちがう
質問 9	自分が言ったことや、やったことをあとでよくよく考えるほうだ。	そのとおり	どちらともいえない
			○
質問 10	もし「そのとおり」が2つ以上あったら、思いの強いほうから順位をつけてください。		
例.	(「1位」 質問3) など		
次問の	1位	2位	3位
号	7	1	3

質問 1～9 について回答

質問 10 はマクロの優位項目に該当する。

同じフォルダに data01 と data02_2010 もしくは data02_2000 を入れてください。(必須)



ファイル「data01」を開きます。マクロを有効にしてください。

そうすると下記の画面になります。

このファイルはクラスで学習スタイルのアンケート(学びのほうほうアンケート)をとった結果を一人ひとり入力し、個々の学習スタイルを特定するマクロです。

ここの指示に従って入力してください。

A screenshot of an Excel spreadsheet showing a form titled '学習スタイル' (Learning Style). The form includes a text input field for 'クラス名' (Class Name) with an '入力' (Input) button, and four buttons: '新規' (New), '修正・追加' (Modify/Add), '削除' (Delete), and '印刷' (Print). Below these is a table with columns 'タイプ名' (Type Name), '人数' (Number of People), '平均' (Average), and '標準偏差' (Standard Deviation). The table has three rows: 'A タイプ', 'B タイプ', and 'C タイプ', each with values 0, 0.0, and --. At the bottom of the form is a small box with the text '大阪府 初級・視覚覚察委員会'. A yellow callout box on the right contains instructions: 'まず、クラス名を入力してください。入力後に Enter を押してください。次に、処理したい、仕事内容をクリックしてください。(新規・修正・削除・印刷) 新規を選ぶと、すべてのデータがクリアされます。' A red arrow points from the 'Enter' key instruction to the 'クラス名' input field. At the bottom of the spreadsheet, a red arrow points to the sheet tab 'Sh11'.

初期はこのシートの画面からスタートします。

- ・ はじめて入力する場合
クラス名を入れてください。(例：6年2組)
次に新規のところにカーソルを持っていき、左クリックしてください。



成績を入力してください。
 入力したら、Enterを押してください。
 次に、質問をクリックで答えてください。
 最後に、▶で次のページに移ってください。



- ・ 児童 No.1 の成績を入れてください。
- ・ 次に質問 1 ~ 3 にクリックで答えてください。
- ・ 右矢印キーを押して、次のページの 4 ~ 6 の質問、同様にしてさらに次のページの 7 ~ 9 の質問にクリックで答えてください。そして、次に ▶



前頁に戻るにはこの矢印キーを選択

学習スタイル 新規

クラス名 3年1組 児童 No. 1

成績 60 点

優位項目

1位項目

2位項目

3位項目

4位項目

Aタイプ	
Bタイプ	
Cタイプ	

◀ ■ ▶▶

次の児童を入力する時は、
▶▶ ボタンをクリック。

処理を終わる時は、■ ボタンをクリックしてください。

アンケートに書かれた1位から4位までをキーから(1~9)を選択します。アンケートに何も書いていない時は未入力でOKです。

学習スタイル 新規

クラス名 3年1組 児童 No. 1

成績 60 点

優位項目

1位項目

2位項目

3位項目

4位項目

Aタイプ	
Bタイプ	
Cタイプ	

◀ ■ ▶▶

次の児童を入力する時は、
▶▶ ボタンをクリック。

処理を終わる時は、■ ボタンをクリックしてください。

▶▶ を選択します。

児童 No が2となるので、2番目の子どもの成績を入れて、1番目と同じように質問項目の回答を入れていきます。

最終の子どもが入力が終わると ■ ボタンをクリックして入力終了となります。

学習スタイル

クラス名 入力
 人数

新規 修正・追加 削除 印刷

タイプ名	人数	平均	標準偏差
Aタイプ	11	83.8	9.14
Bタイプ	12	83.7	14.20
Cタイプ	7	77.1	10.45

大原市 30次・横浜東洋建設会

修正する児童 No

No. クリック OK

修正したい児童の No を半角英数で入力して「クリック」をクリックしてから「OK」ボタンをクリックします

メニューに戻る

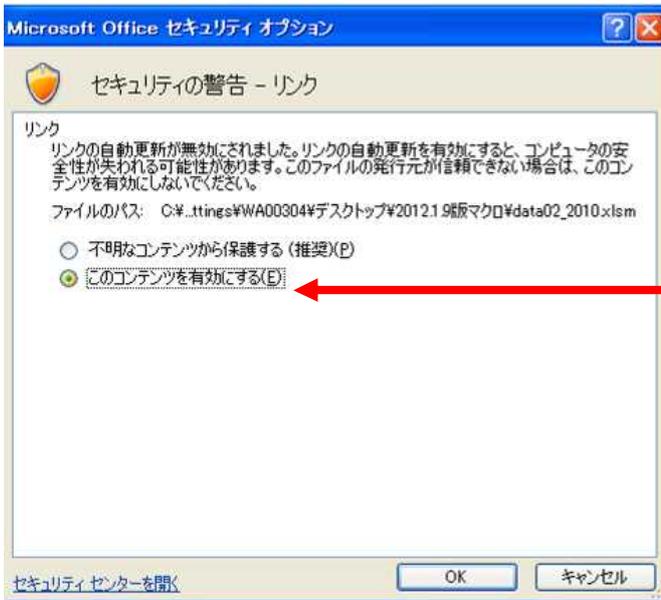
データを修正する場合は修正ボタンをクリックすると修正 No を聞いてくるので、番号を入力しクリック、OK をクリックしてその番号の最初の画面になるので、**もう一度成績を入力し**、修正箇所の問題項目のラジオボタンをクリックして、優先項目のページまで進んで、 ボタンをクリック

印刷ボタンをクリックすると この2つの表が印刷される。

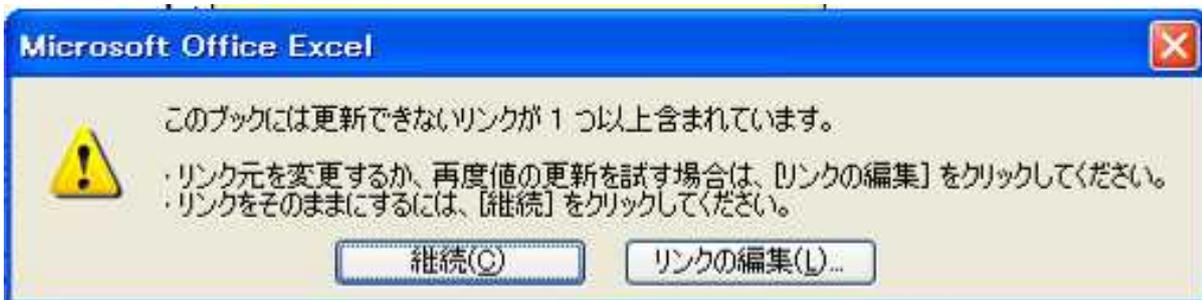
学習スタイル										成績				順位項目				得点			重み付け			総合タイプ			A群			B群			C群		
児童の番号	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	1番	2番	3番	4番	A	B	C	A	B	C	A	S	C	高	中	低	高	中	低	高	中	低				
1	3	2	3	3	3	2	2	1	1	150	2			4	4	8	44	40	80	1	0	0	150			150	150								
2	2	2	3	3	1	1	1	1	3	140	4			5	7	7	50	74	70	2			140			140	140			140					
3	3	3	2	1	2	2	2	2	2	140	2			4	7	7	44	70	70	3			140			140	140			140					
4	2	3	2	3	3	3	3	3	2	110	3			5	3	4	54	30	40	4			110			110	110			110					
5	5	1	2	1	3	2	2	2	1	75	4			8	5	8	80	54	80	5			75			75	75			75					
6	6	2	3	1	2	1	3	2	3	125	7			5	8	4	50	80	44	6			125			125	125			125					
7	7	2	2	2	2	2	2	2	2	140	2			6	6	6	64	60	60	7			140			140	140			140					
8	8	2	2	1	2	2	1	1	1	145	8			6	7	9	60	70	34	8			145			145	145			145					
9	2	3	2	3	1	3	2	1	3	125	6			5	5	6	50	54	60	9			125			125	125			125					
10	2	2	1	3	3	2	1	1	2	150	5			7	4	8	70	44	80	0			150			150	150			150					
11	11	2	1	3	3	3	3	1	2	149	4	5	6	6	3	8	60	39	80	0			149			149	149			149					
12	12	2	1	2	2	3	1	2	2	130	2			7	6	6	74	60	60	0			130			130	130			130					
13	13	2	2	2	2	2	2	2	2	139	2			6	6	6	64	60	60	0			139			139	139			139					
14	14	3	3	3	2	3	1	1	1	135	1	2		3	6	9	37	60	90	0			135			135	135			135					
15	15	2	1	1	1	2	1	1	1	130	4			8	8	7	80	84	70	0			130			130	130			130					
16	16	3	3	1	2	3	3	2	2	100	4			5	4	7	50	44	70	0			100			100	100			100					
17	17	2	2	2	1	3	2	2	1	150	5			6	6	8	60	64	80	0			150			150	150			150					
18										0	0			0	0	0	0	0	0	0															
19										120	0			0	0	0	0	0	0	0															
20	20	3	3	3	2	3	2	3	2	138	3			3	5	4	34	50	40	0			138			138	138			138					
21	21	3	3	2	3	3	3	1	1	120	5			4	3	9	40	34	90	0			120			120	120			120					
22	22	2	2	2	1	1	2	2	2	120	5			6	8	6	60	84	60	0			120			120	120			120					
23	23	2	3	3	2	2	2	3	2	128	2	2		4	6	7	47	60	70	0			128			128	128			128					
24	24	1	3	2	3	3	3	1	1	140	5			6	3	9	60	34	90	0			140			140	140			140					
25	25	2	3	2	3	3	1	1	2	140	4	5		5	5	6	50	57	60	0			140			140	140			140					
26	26	2	2	3	1	3	1	1	1	128	2			5	7	9	54	70	90	0			128			128	128			128					
27	27	3	2	3	3	3	3	1	1	140	5	6		4	3	9	40	37	90	0			140			140	140			140					
28										0	0			0	0	0	0	0	0	0															
29	29	3	3	2	2	3	3	1	1	140	2			4	4	9	44	40	90	0			140			140	140			140					
30	30	2	2	3	3	2	3	3	2	113	4			5	4	6	50	44	60	0			113			113	113			113					
31	31	2	2	3	2	3	3	1	1	85	6			5	4	8	50	44	80	0			85			85	85			85					
32	32	2	3	3	3	3	1	2	1	95	2			4	5	8	44	50	80	0			95			95	95			95					
33	33	3	3	2	3	2	1	1	1	100	1	2		4	6	9	47	60	90	0			100			100	100			100					
34										0	0			0	0	0	0	0	0	0															
35	35	2	2	2	3	3	1	1	1	140	1	4	0	0	0	0	6	5	9	64	57	90	0			140	140			140					
36	36	3	2	3	3	3	2	1	2	145	3		0	0	0	0	4	4	8	44	40	80	0			145	145			145					
37	37	2	2	3	2	3	1	1	1	140	2			5	6	9	54	60	90	0			140			140	140			140					
38	38	2	3	2	3	3	1	2	1	135	5			5	5	7	50	54	70	0			135			135	135			135					
39	39	3	3	3	3	3	3	3	1	135	1	1	0	0	0	0	3	3	5	37	30	50	0			135	135			135					
40										0	0			0	0	0	0	0	0	0															

この表で入力に間違いがないか確認する。

チェックが終われば、このファイル data01 を上書きします。



このコンテンツを有効にする にチェックをして OK をクリックする



継続をクリックする

この操作で data01 のデータを取り込む

Excel 2000, 2003 の場合は data02 を開いたら自動的に取り込むので上記の操作は不要

1) 個々のアンケートを用意し、個々の結果を入力していく。

アンケート番号	アンケート内容	1	2	3	4	5
1	アンケートの目的を明確にすることができた	5	4	3	2	1
2	回答した理由が、回答者からよくわかった	5	4	3	2	1
3	回答書や資料が十分にそろった	5	4	3	2	1
4	家庭のノートが十分にそろった	5	4	3	2	1
5	回答のものが十分にそろった	5	4	3	2	1
6	テレビ番組の録音から得られたものが十分にそろった	5	4	3	2	1
7	ビデオをうまく活用して回答が得られた	5	4	3	2	1
8	グループで考えることができた	5	4	3	2	1
9	じっくり考えることができた	5	4	3	2	1
10	従来の調査を聞いて、回答が得られた	5	4	3	2	1
11	自分の考えや意見を表現できた	5	4	3	2	1
12	回答がわかりやすく整理された	5	4	3	2	1
13	自分で調べたことに興味を持てた	5	4	3	2	1
14	自分のパソコンやスマホで回答できた	5	4	3	2	1
15	プリントアウトして回答が得られた	5	4	3	2	1
16	先生が実際に来て話をしてくれた	5	4	3	2	1
17	先生が質問に答えてくれた	5	4	3	2	1
18	先生がわかりやすく話をしてくれた	5	4	3	2	1
19	先生が実際に来て話をしてくれた	5	4	3	2	1
20	この調査の結果がわかった	5	4	3	2	1

児童に 授業後アンケート ファイルで選択した質問のチェック欄に 1 を入れる。

授業後アンケート

クラス名 3年2組 質問選択 選択数 11

戻る

必要な質問に、1 を入力してください。
チェックは、最大 12個 (質問19・20を含む) までです。(質問 19・20番は、必須です。チェックをはずせません)

チェック	質問	項目
	質問 1	前の時間にやったことが思い出せて…
1	質問 2	何をしたらよいか、何を考えたらよいか…
1	質問 3	教科書や資料が大きく写ってわかり…
	質問 4	友達の手が大きく写ってわかり…
1	質問 5	実際のもが大きく写ってわかり…
	質問 6	テレビ番組を止めたから見ただけでわかり…
1	質問 7	ビデオを見て勉強してわかりやすかった
	質問 8	グループで考えることができてよかった
1	質問 9	ひとりで考えることができてよかった
1	質問 10	友達の発表を聞いて、わかりやすかった
1	質問 11	自分の考えや意見を発表できてよかった
	質問 12	自分がやりたい問題を調べてよかった
	質問 13	自分で調べたいことに取り組めて…
	質問 14	自分でパソコンやテレビなどを…
	質問 15	プリントを書き込んでわかりやすかった
	質問 16	先生がそばに来て教えてくれたので…
1	質問 17	先生の話(授業の説明)がわかった
1	質問 18	先生がわかりやすく黒板にまとめてくれた
1	質問 19	勉強に集中して取り組むことができた
1	質問 20	この時間の勉強がわかった

必ず守ってください

全部入れ終わったら  をクリックする。

新規入力をクリックして一人ひとりのデータを入れていく。

授業後アンケート 大田南校 初等教育研究会

クラス名 3年2組 分析開始

質問選択 新規入力 修正・追加 削除 印刷

● 印の質問項目は成績と関連があると予想される。

成績	質問19	質問20	質問	項目
31.2%	0.0%	0.0%		
全体			質問 2	何をしたらよいか、何を考えたらよいか…
--	--		質問 3	教科書や資料が大きく写ってわかり…
--	--		質問 5	実際のもが大きく写ってわかり…
--	--		質問 7	ビデオを見て勉強してわかりやすかった
--	--		質問 9	ひとりで考えることができてよかった
--	--		質問 10	友達の発表を聞いて、わかりやすかった
--	--		質問 11	自分の考えや意見を発表できてよかった
--	--		質問 17	先生の話(授業の説明)がわかった
--	--		質問 18	先生がわかりやすく黒板にまとめてくれた
--	--		質問 19	勉強に集中して取り組むことができた
--	--		質問 20	この時間の勉強がわかった

入力終了後にクリック

◎ data01.xlsは、準備できていますが
まず、クラス名を入力します。
入力したら、必ず Enter を押してください。

次に、処理したい仕事内容を
クリックしてください。
(質問選択・新規入力・修正・削除・印刷)

分析開始は、必ずデータを入力
してから、クリックしてください。

最初に、質問選択をしてください。

新規を選ぶと、すべてのデータが
消去されてしまいます。

入力等が終わったら、必ずファイルを
保存してください。

選択した質問項目の個々の結果を入れていく

選択していない質問項目はうすくなり回答するところは黒く塗りつぶされている。誤って入力しても結果には反映されないのでそのままにしておく。

不要な質問は無視してください。
入力しても、プログラム処理時に
破棄されます。
成績は変更できません。
成績の変更は、
“学習スタイル調査”
(data01.xls)で
おこなってください。

全員入力が終わったら、■ を
クリックしてください。
続いて、次の児童の入力をする時は
▶ をクリックしてください。

質問1～3、4～6、7～9、10～12、13～15、16～18、19～20の回答欄にアンケート結果を入力する。

次の児童を入力するときは ▶▶ をクリック、全員の入力が終わったら、■ をクリックする

授業後アンケート 大阪府教育・初等教育研究会

クラス名 分析開始

質問選択 新規入力 修正・追加 削除 印刷

● 印の質問項目は成績と関連があると予想される。

成績	質問19	質問20	質問	項目
31.2%	0.0%	0.0%	全体	
--	--	--	質問 2	何をしたらよいか、何を考えたよいか...
--	--	--	質問 3	教科書や資料が大きく写ってわかり...
--	--	--	質問 5	実際の方が大きく写ってわかり...
--	--	--	質問 7	ビデオを見て勉強してわかりやすかった
--	--	--	質問 9	ひとりで考えることができてよかった
--	--	--	質問 10	友達の発表を聞いて、わかりやすかった
--	--	--	質問 11	自分の考えや意見を発表できてよかった
--	--	--	質問 17	先生の話(授業の説明)がわかった
--	--	--	質問 18	先生がわかりやす黑板にまとめてくれた
--	--	--	質問 19	勉強に集中して取り組むことができた
--	--	--	質問 20	この時間の勉強がわかった

入力終了後にクリック

◎ data01.xlsは、準備できていますか

まず、クラス名を入力します。
入力したら、必ず Enter を押してください。

次に、処理したい仕事内容を
クリックしてください。

(質問選択・新規入力・修正・削除・印刷)

分析開始は、必ずデータを入力
してから、クリックしてください。

最初に、質問選択をしてください。

新規を選ぶと、すべてのデータが
消去されてしまいます。

入力等が終わったら、必ずファイルを
保存してください。

最初の画面に戻るので、**分析開始** をクリックすると

この欄に 授業のどういう工夫が効果的であったのかの分析結果が、表示されます。

ここを押して、クラス全体、学習スタイルA高群、A低群、B高群、B低群、C高群、C低群毎での分析結果がわかります。

学習スタイルAとは「学びを意味づけてから行動するのが得意なタイプ」

学習スタイルBとは「行動しながら学びを意味づけるのが得意なタイプ」

学習スタイルCとは「時間をかけて学びを意味づけるのが得意なタイプ」

例えば、学習スタイルA高群とは「学びを意味づけてから行動する」要素が強い児童を表します。

分析結果例

授業後アンケート 大阪府教育委員会

クラス名 3年2組 分析開始

質問選択 新規入力 修正・追加 削除 印刷

● 印の質問項目は成績と関連があると予想される。

成績	質問19	質問20	質問	項目
0.0%	70.1%	92.0%		
			質問 1	前の時間にやったことが思い出せて・・・
			質問 2	何をしたらよいか、何を考えたらよいか・・・
			質問 3	教科書や資料が大きく写ってわかり・・・
			質問 6	テレビ番組を止めながら見たのでわかり・・・
			質問 7	ビデオを見て勉強してわかりやすかった
			質問 10	友達の発表を聞いて、わかりやすかった
			質問 11	自分の考えや意見を発表できてよかった
		●	質問 15	プリントに書き込んでわかりやすかった
		●	質問 17	先生の話(授業の説明)がわかった
			質問 18	先生がわかりやすく黒板にまとめてくれた
--	--		質問 19	勉強に集中して取り組むことができた
--	--		質問 20	この時間の勉強がわかった

Sh11 Sh01 Sh02 Sh21 Sh22 Sh23 Sh24 Sh25 Sh26 Sh27 Sh40 Sh50 Sh91 Sh99 data01

Bの高群の児童については

質問15「プリントに書き込んでわかりやすかった」と質問17「先生の話（授業の説明）がわかった」が質問20「この時間の勉強がわかった」が関連があることがわかった。

Bの高群の児童については、プリントでの書き込みや授業の説明が効果的であったことを示している。

(注)各学習スタイルの高群または低群の児童数が選択した質問数より少ないときは分析できません。